

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セゾン情報システムズ

コード番号 9640 URL <http://home.saison.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮野 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 赤木 修

四半期報告書提出予定日 平成25年10月29日

配当支払開始予定日

TEL 03-3988-3477

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,198	10.2	1,058	△9.4	1,090	△7.3	610	△15.2
25年3月期第2四半期	14,698	△4.2	1,167	△42.1	1,175	△42.4	719	△34.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 638百万円 (△10.3%) 25年3月期第2四半期 712百万円 (△35.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	37.67	—
25年3月期第2四半期	44.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	26,480	16,361	61.7
25年3月期	25,066	16,160	64.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 16,340百万円 25年3月期 16,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	7.5	3,350	22.9	3,340	22.0	2,050	22.4	126.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	16,200,000 株	25年3月期	16,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	217 株	25年3月期	217 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	16,199,783 株	25年3月期2Q	16,199,783 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成25年10月29日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景とした円安・株高による企業業績の改善、個人消費及び設備投資に回復傾向が見られ、日本経済全体は緩やかに回復し始めました。

当社グループが属する情報サービス業界は、クラウドサービス、スマートデバイス、セキュリティ対策、ビッグデータ対応等への関心が高まり、新たな需要が期待されるものの、依然として企業の情報化投資に対する慎重な姿勢は継続しており、業界全体は厳しい状況で推移しました。

このような経営環境において、当社グループは、情報処理サービス、システム開発、パッケージ販売の3分野をバランス良く展開している事業特性を活かし、各事業間のシナジーを高め、既存顧客との取引拡大、新規顧客獲得に努めております。また、クラウド型ホスティングサービスである「SAI SOS (サイソス)」の拡大及び「HULFT」等のパッケージ製品の海外展開に注力するとともに、企業と消費者を結ぶ「BtoC」ソリューションビジネスへの展開を図っております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は16,198百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は1,058百万円（同9.4%減）、経常利益は1,090百万円（同7.3%減）、四半期純利益は610百万円（同15.2%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。以下、セグメント間取引については相殺消去しておりません。

なお、第1四半期連結会計期間より、管理区分の変更に伴い世存信息技術（上海）有限公司の事業セグメントを「その他」から「HULFT事業」に変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

①金融システム事業

売上面においては、大型システム開発案件が堅調に推移したこと、「所有から利用へ」の潮流の中「SAI SOS」等の情報処理サービスが堅調に推移したこと等により、当第2四半期連結累計期間の金融システム事業の売上高は9,106百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

利益面においては、システム開発において収益性の低い製造工程に係る開発の割合が多かったこと及び既存顧客向けサービスの領域拡大に向けた取組みに伴うコストの増加等により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は163百万円（同64.0%減）となりました。

②流通サービスシステム事業

売上面においては、新規顧客獲得及び既存顧客向けのシステム開発が堅調に推移したものの、既存顧客向けの情報処理サービスが減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の流通サービスシステム事業の売上高は2,180百万円（同2.2%減）となりました。

利益面においては、システム開発に係る利益は増加したものの、既存顧客向け情報処理サービスの減少を補うまでには至らず、当第2四半期連結累計期間は79百万円の営業損失（前年同期は66百万円の営業損失）となりました。

③BPO事業

売上面においては、インターネット給与明細照会サービス「Bulas Payslip Mobile」が堅調に推移するとともに、既存顧客向けシステム改修等のシステム開発案件が堅調に推移したこと等により、当第2四半期連結累計期間のBPO事業の売上高は868百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

利益面においては、情報処理サービスに係る運用コスト及び品質改善コストの増加等により、当第2四半期連結累計期間は234百万円の営業損失（前年同期は130百万円の営業損失）となりました。

④HULFT事業

通信ミドルウェアのデファクトスタンダードである当社の主力製品「HULFT」の累計出荷数は前連結会計年度末から約6,000本増加し約158,000本となり、導入社数は前連結会計年度末から約200社増加し7,600社を超えました。

売上面においては、「HULFT」の製品販売は若干落ち込んだものの、保守サービスが堅調に推移したこと及び前連結会計年度末より連結した(株)アプレッソの業績が寄与したこと等により、当第2四半期連結累計期間のHULFT事業の売上高は3,253百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

利益面においては、保守サービスが堅調に推移し利益の底上げが図られたものの、(株)アプレッソに係るのれんの償却及び新製品の減価償却費の増加等により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1,267百万円(同11.5%減)となりました。

⑤その他

その他には(株)フェスを分類しており、売上面においては、医療機関向けシステム運営管理受託及びITIL関連事業が拡大したものの、新潟BPOセンターの運営管理受託業務が減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,325百万円(同4.8%減)となりました。

利益面においては、収益性の高い医療機関向けシステム運営管理受託事業及びITIL関連事業が拡大したこと等により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は82百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より1,414百万円増加し26,480百万円となりました。主な増加要因は、大型開発案件の完成等により受取手形及び売掛金が1,790百万円増加したこと等によるものであります。また、主な減少要因は、設備の減価償却等により固定資産が797百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末より1,213百万円増加し10,119百万円となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金が1,228百万円増加したこと等によるものであります。また、主な減少要因は、リース債務が220百万円減少したこと、退職給付引当金が112百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末より200百万円増加し16,361百万円となりました。主な増加要因は、四半期純利益の計上により610百万円増加したこと等によるものであります。また、主な減少要因は、剰余金処分による配当財源への割当てにより利益剰余金が404百万円減少したこと等によるものであります。

以上のとおり、大型開発案件の完成等に伴い一時的に資産及び負債が増加したことにより、自己資本比率は前連結会計年度末より2.6ポイント減少し、61.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末より156百万円増加し、7,645百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,415百万円(前年同四半期比25.9%増)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,076百万円を計上したこと、システム開発等に係る仕入債務が1,228百万円増加したこと等によるものであります。また、主な減少要因は、システム開発等に係る売上債権が1,790百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は624百万円(同19.6%増)となりました。

主な減少要因は、「SAI SOS」関連の設備投資等によりサーバー・通信機器及びソフトウェア等に581百万円を支出したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は639百万円(同4.9%増)となりました。

これは主として配当金405百万円を支出したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月24日付「平成25年3月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,489,313	7,715,967
受取手形及び売掛金	4,769,495	6,560,297
有価証券	299,999	402,985
商品及び製品	2,793	402
仕掛品	221,625	242,973
原材料及び貯蔵品	17,194	15,248
未収還付法人税等	131,019	—
繰延税金資産	337,231	345,219
その他	577,468	775,226
貸倒引当金	△594	△677
流動資産合計	13,845,548	16,057,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	667,906	634,895
減価償却累計額	△296,834	△277,245
建物及び構築物（純額）	371,072	357,650
工具、器具及び備品	2,658,988	2,743,527
減価償却累計額	△1,620,957	△1,680,337
工具、器具及び備品（純額）	1,038,030	1,063,189
リース資産	3,494,708	3,503,962
減価償却累計額	△1,229,065	△1,553,190
リース資産（純額）	2,265,642	1,950,772
建設仮勘定	1,205	9,455
有形固定資産合計	3,675,951	3,381,066
無形固定資産		
ソフトウェア	3,031,417	2,980,582
リース資産	485,699	422,438
のれん	810,888	816,343
その他	539	393
無形固定資産合計	4,328,544	4,219,758
投資その他の資産		
投資有価証券	1,161,814	1,007,499
敷金	715,830	513,025
繰延税金資産	606,138	595,068
その他	737,481	711,594
貸倒引当金	△4,750	△4,750
投資その他の資産合計	3,216,515	2,822,438
固定資産合計	11,221,011	10,423,263
資産合計	25,066,560	26,480,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,131,366	3,359,751
リース債務	442,596	434,057
未払法人税等	92,369	468,492
賞与引当金	706,137	835,490
その他	3,331,107	3,150,502
流動負債合計	6,703,578	8,248,293
固定負債		
リース債務	1,135,261	923,367
退職給付引当金	849,655	737,292
長期未払金	76,030	68,200
資産除去債務	141,689	142,739
固定負債合計	2,202,636	1,871,599
負債合計	8,906,215	10,119,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,367,687	1,367,687
資本剰余金	1,462,360	1,462,360
利益剰余金	13,207,922	13,413,111
自己株式	△217	△217
株主資本合計	16,037,752	16,242,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,693	87,975
為替換算調整勘定	2,611	9,943
その他の包括利益累計額合計	70,304	97,919
少数株主持分	52,288	20,151
純資産合計	16,160,344	16,361,013
負債純資産合計	25,066,560	26,480,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	14,698,016	16,198,718
売上原価	11,718,073	12,936,126
売上総利益	2,979,943	3,262,591
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	—	90
役員報酬	130,010	157,362
従業員給料及び賞与	581,862	697,803
賞与引当金繰入額	168,997	208,892
退職給付費用	43,018	49,438
福利厚生費	142,883	183,655
減価償却費	90,787	66,904
のれん償却額	—	42,965
その他	654,914	797,426
販売費及び一般管理費合計	1,812,474	2,204,539
営業利益	1,167,469	1,058,051
営業外収益		
受取利息	1,444	2,206
有価証券利息	9,590	4,269
複合金融商品評価益	—	1,049
受取配当金	7,434	3,679
為替差益	692	—
補助金収入	3,304	35,522
その他	990	7,530
営業外収益合計	23,455	54,257
営業外費用		
支払利息	14,750	11,647
複合金融商品評価損	279	—
投資事業組合運用損	—	1,325
為替差損	—	1,982
訴訟関連費用	—	7,099
その他	62	1
営業外費用合計	15,091	22,056
経常利益	1,175,833	1,090,253
特別利益		
投資有価証券売却益	24,336	—
特別利益合計	24,336	—
特別損失		
固定資産処分損	2,649	13,808
特別損失合計	2,649	13,808
税金等調整前四半期純利益	1,197,519	1,076,445
法人税等	478,219	465,280
少数株主損益調整前四半期純利益	719,300	611,165
少数株主利益	—	981
四半期純利益	719,300	610,184

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	719,300	611,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,803	20,282
為替換算調整勘定	△2,008	7,332
その他の包括利益合計	△6,812	27,615
四半期包括利益	712,488	638,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	712,488	637,799
少数株主に係る四半期包括利益	—	981

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,197,519	1,076,445
減価償却費	984,438	1,146,981
のれん償却額	—	42,965
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△138	83
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,068	129,352
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△96,536	△112,362
データセンター移設損失引当金の増減額 (△は減少)	△189,990	—
受取利息及び受取配当金	△18,469	△10,155
支払利息	14,750	11,647
為替差損益 (△は益)	△493	2,383
投資有価証券売却損益 (△は益)	△24,336	—
固定資産処分損益 (△は益)	2,649	13,808
複合金融商品評価損益 (△は益)	279	△1,049
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	1,325
売上債権の増減額 (△は増加)	1,067,286	△1,790,802
たな卸資産の増減額 (△は増加)	778,177	△17,010
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,731,712	1,228,384
長期未払金の増減額 (△は減少)	△39,470	△7,830
その他の資産の増減額 (△は増加)	△296,945	△221,421
その他の負債の増減額 (△は減少)	186,238	△84,288
小計	1,814,180	1,408,455
利息及び配当金の受取額	18,116	9,002
利息の支払額	△14,195	△12,320
法人税等の支払額	△693,435	△119,737
法人税等の還付額	—	130,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,124,665	1,415,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△170,000
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の償還による収入	350,000	300,000
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△317,470
投資有価証券の売却による収入	32,780	—
投資有価証券の償還による収入	—	150,038
子会社株式の取得による支出	—	△81,538
有形及び無形固定資産の取得による支出	△807,864	△581,546
敷金及び保証金の差入による支出	△655	△4,202
敷金及び保証金の回収による収入	3,688	180,223
その他	7	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△522,044	△624,494
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△405,514	△405,841
リース債務の返済による支出	△204,092	△233,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△609,607	△639,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	△744	4,949
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,730	156,653
現金及び現金同等物の期首残高	5,351,339	7,489,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,343,608	7,645,967

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	金融 システム 事業	流通 サービス システム 事業	BPO 事業	HULFT 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,047,486	2,230,979	783,791	2,961,598	14,023,856	674,160	14,698,016	—	14,698,016
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	992	11,684	12,676	718,657	731,334	△731,334	—
計	8,047,486	2,230,979	784,783	2,973,283	14,036,533	1,392,817	15,429,351	△731,334	14,698,016
セグメント利益 又は損失(△)	455,051	△66,922	△130,930	1,432,687	1,689,885	73,856	1,763,742	△596,273	1,167,469

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社が行っているシステム運営管理受託・人材派遣等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△596,273千円には、セグメント間取引3,728千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△600,001千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、データセンター増強に伴う並行稼働コストであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	金融 システム 事業	流通 サービス システム 事業	BPO 事業	HULFT 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,106,098	2,180,030	866,900	3,244,150	15,397,179	801,538	16,198,718	—	16,198,718
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	937	1,388	9,295	11,622	523,795	535,417	△535,417	—
計	9,106,098	2,180,967	868,289	3,253,446	15,408,801	1,325,334	16,734,136	△535,417	16,198,718
セグメント利益 又は損失(△)	163,639	△79,381	△234,040	1,267,940	1,118,158	82,761	1,200,919	△142,868	1,058,051

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社が行っているシステム運営管理受託・人材派遣等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△142,868千円には、セグメント間取引3,877千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,745千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた世存信息技术(上海)有限公司の事業セグメントについて、管理区分の変更により「HULFT事業」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。